



©Mayumi Rui

ルワンダ国内の難民キャンプにある学校に通う、コンゴ民主共和国の子どもたち。学校給食は子どもたちの夢や希望を広げます。

# 飢餓から救う。未来を救う。

国連の食料支援機関

# 国連WFPニュース

Dec. 2019 Vol.60

虐殺から 25 年、  
ルワンダの“いま”を竹下景子さんが視察



「持続可能な開発目標」(SDGs : Sustainable Development Goals) は、2030 年までに達成すべき 17 の国際社会の共通目標をまとめたもの。国連 WFP は、目標 2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤にもなるとの考えのもと、その実現を目指しています。



# 虐殺から25年、ルワンダの“いま”を 竹下景子さんが視察

ルワンダは、25年前の1994年に80万人以上が犠牲となる大虐殺が発生した悲しい歴史を持つ国です。その後四半世紀を経て、同国は「アフリカの奇跡」と言われるほどの発展を遂げていますが、今でも人口の35%が栄養不足に陥っています。そんなルワンダを、今年7月、国連WFP協会親善大使の竹下景子さんが訪れました。



ニヤマガベ郡カメグリ地区ルスサ小学校。トウモロコシ粉を練ったものに、豆と緑野菜を油で煮込んだものがかけられた給食が出ていました。



(左)2009年に(公社)ACジャパンによって制作された、学校給食支援の広告「hopeを消さないで」の画像。中央左がクラリスちゃん(8歳)、中央右がジャン・クラウドくん(10歳)(右)10年後の今年2019年7月、同じ小学校で撮影。中央左がクラリスちゃん(18歳)、中央右がジャン・クラウドくん(20歳)

## 飢えを抜け出すための自立支援

ルワンダでは農村部で暮らす人の多くが農業に従事しています。また国土は丘陵地帯が広がり、多くが斜面です。そのため、近年の気候変動の影響による予期できない規模や頻度の大雨、干ばつが、農業にダメージをもたらすことが多く、農村部の人々は困難に直面しています。「発展目覚ましいと言われながらも、どうしても見落とされがちな人たちがいる」ということを目の当たりにしました」と竹下さん。



干ばつ対策の灌漑設備も整っています

そこで国連WFPは、自然災害による被害を減らし、食料不足を解消

するための支援を行っています。訪問したニヤマガベ郡カメグリ地区では、湿地帯の開墾や灌漑設備の整備のために地元の農家の人々に労働に参加してもらい、その対価として食料購入のための現金を支援しています。今では三毛作もできるようになり、豆・トウモロコシ・ジャカイモなど様々な食料を収穫し、自給自足のみならず、国連WFPの支援食料として南スーダン等に出荷もしています。

の給食を見て、本当に食べられるのかとはじめは思いましたが、これが一日分の食事になる子も多いのですから、納得です」と竹下さん。給食支援がある学校では退学率が1%以下にもなるとのこと。給食が、子ども達の食、そして教育を確実に支えていることが分かります。

## 子どもの未来を支える

## 山盛りの給食

学校給食支援の現場も訪れました。国連WFPは2002年からルワンダで学校給食支援を実施しています。2016年からは、学校で育てたり地元農家から調達したりした野菜を加えた給食の提供も始めています。

ニヤマガベ郡は、ルワンダの中でも最も貧しい地域の一つで、給食が一日一度の食事という子どもも多くいます。「お皿に山盛り



多くの家が斜面に建っていました

訪れたのは同国の難民が暮らすニヤマガベ郡・キゲメキャンプ。2万3千人、4千世帯が住んでいます。

キャンプ内で国連WFPは様々な支援を行っています。その一つが最新技術を導入した現金支援です。これは、個人情報電子登録されたカードをキャンプ内の商店に持ち参し、指紋認証かPINコード入力

で本人確認が取れると、現金を受け取れるという仕組み。難民一人当たり月約900円を受け取れます。店を訪れていたデュサベさん(42)は、「以前は食料が配られていたのが、現金の方が色々な種類の食べ物を選べるので有難いです」と語り

ました。現金支援により、難民は自ら商品を選択する機会を得ることができ、尊厳が守られます。また、最新技術の導入により支援の効率化にも繋がっています。



家族10人分の米、野菜などを購入したデュサベさん



ガールズルーム。1日約30人の女子が利用

通学を後押しするガールズルーム キャンプ内では学校給食支援も実施されています。校長のノエルさんに話を聞きました。「給食支援が始まって以来、勉強への意欲も高まり、生徒数は2倍以上に増えました。」「ガールズルーム」も見ることができました。これは、生理中の女の子が使える部屋で、生理用品や下着、ベッドが置かれています。「ガールズルーム」ができてからは、学校を休んだり、退学したりしてしまう子が減りました」とノエル校長は話します。

も会うことができました。その2人が、上の写真に写っている、クラリスちゃん(中央左)とジャン・クラウドくん(中央右)です。クラリスちゃんは現在18歳の高校生。「音楽が好きなので、将来はミュージシャンになりたい」と嬉しそうに教えてくれました。ジャン・クラウドくんは20歳で、現在はマカダミアナッツを作る会社で苗木を植える仕事をしています。「将来は自分のお店を持ちたい」と夢を語ってくれました。

難民キャンプの視察を終えた竹下さんは、「現実には厳しいのですが、子どもたちが元気に学校に通っているのが印象に残りました」と語りました。10年前の子どもたちに再会 今回の視察では、10年前に公益社団法人ACジャパンによって制作された、国連WFPの学校給食支援の広告に登場した子どもたち2人に





# 支援の現場から

ルワンダ



ルワンダは発展してきてはいますが、首都のキガリだけという印象が強く、地方はまだ相当貧しいです。何日も同じ服を着ている方がいたり、靴を履いていない子どもがいたりします。隣国から逃れてくる難民もいます。

私は2018年1月からルワンダ事務所にてプログラムユニットリーダーとして勤務しています。難民支援や社会保障など、支援内容ごとにチームが6つあり、そのマネジメントが任務です。色々な国の人たちとの仕事なので、やり方や考え方が違うことがほとんどで口論になることも多いですが、目的は皆「飢餓をゼロに」と同じです。粘り強く話し合っ、スムーズに業務が進むようにしています。

普段は事務所にいることが多くなっていますが、1カ月に1～2回は地方の現場に赴き、人々から話を聞くようにしています。実際に現地を見て、話をすると、自身の生活がどれだけ恵まれているのかと感ずます。私たちはたまたま日本に生まれ、何不自由ない日々が送れます。しかし、いつ何時、災害に見舞われ支援が必要になるか、いつ逆の立場になるか分からない、それをいつも頭に留めておかねばいけないと思います。

私には6歳と9歳の2人の子どもがいるのですが、この子たちを見ている、何と幸せなことかと思えます。一日三食食べることができ、お菓子まであります。普通に何でも暮らしが送れます。しかしWFPの給食支援を受けている子どもたちは、それに大きく頼っています。そんな子どもたちが、笑顔で将来の夢を話してく

下村理恵 (しもむら まさえ)  
国連 WFP ルワンダ事務所  
プログラムユニットリーダー

上智大学比較文化学科、国際  
大学大学院国際関係学科  
卒業後、チェコにて専門調  
査員、UNHCR ハンガリー  
事務所にてJPOとして勤務。

2005年に国連 WFP インドネシア事務所にて  
インドシナ地震支援調整を担当後、ジンバブエ、  
スーダン、東ティモール、ミャンマー事務所  
にてプログラム全般に携わる。



れたり、数年後に大学まで行ったという話を聞いたりすると、本当に良かったと思えます。成果がすぐに出るわけではありませんが、何とか支援を続けていきたいです。

現地での日本のイメージは良く、私が日本人ということを言うとパッと明るい表情をしてくれます。皆さんもどうか世界の飢餓についてまずは考えていただき、できることからやっていただければと思います。

## インフォメーション

### 三井住友銀行の手数料無料口座が新設

個人の皆様にご寄付の際にご利用いただける三井住友銀行の口座が2020年1月から新設されます。こちらの口座は同銀行のご協力により、振込手数料が無料になります(条件有)。詳細は2020年1月以降、国連WFPウェブサイトや本ニュースレターなどでお知らせいたします。

### 住所変更はお済みですか？

「WFP マンスリー募金」にご協力いただいている皆様に、2019年度の領収書を一年分まとめて2020年1月21日より順次発送いたします。

ご登録の住所に変更がある場合には、下記フリーダイヤルまたはメール ([info@jawfp.org](mailto:info@jawfp.org)) までお早めにご連絡ください。

公式ウェブサイトまたはアプリ「FOODeliver」のマイページからも変更可能です。

## 身近にできる国連WFP支援

### レッドカップキャンペーン

共立食品(株)、トップ卵(株)、(株)プレーリードッグが新たに参加！アサヒ飲料(株)とキャンベルジャパン(株)は継続のご協力です。売り上げの一部は、学校給食支援に寄付されます。



[www.jawfp.org/redcup](http://www.jawfp.org/redcup)

<p>共立食品 <b>NEW</b></p> <p>「素焼きアーモンド徳用」「レーズン」他</p>	<p>トップ卵 <b>NEW</b></p> <p>とっぷらんのたまご</p>	<p>プレーリードッグ <b>NEW</b></p> <p>Le Pâtissier ケーキタオル</p>
<p>アサヒ飲料</p> <p>#like「アサヒおいしい水」 天然水 ラベルレス ボトル 2L×9本</p>	<p>キャンベル ジャパン</p> <p>ペパリッジファーム</p>	

最新の情報は…



WFP.JP



WFP\_JP



スマホアプリ  
FOODeliver  
(フーデリバー)



メルマガ  
HPトップページ  
からも登録可



国連WFP  
<https://ja.wfp.org/>

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 6F

0120-496-819

受付時間 9:00 ~ 18:00 (通話料無料・年始を除く年中無休)